

令和6年度

東明小だより

令和6年12月23日
第10号



「よかった 5月 89.4%→12月 92.5%」



校長 吉田 尚子

今年度からスタートした「教科担任制」。12月に2回目のアンケートの集計ができました。5月に比べ、さらに「よかった。」と感じている児童が多くなりました。

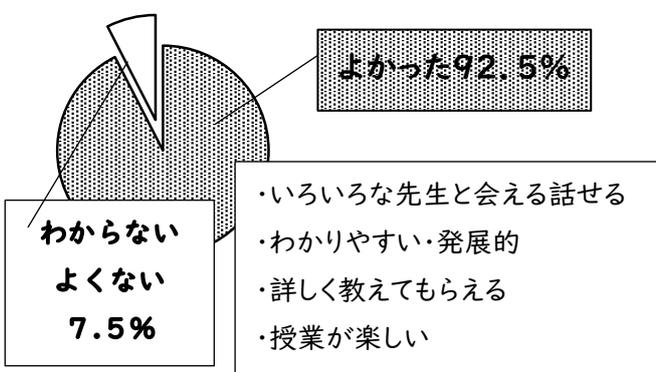
「よい」と答えた理由の中で、特に注目したいのは、「発展的で詳しく教えてもらえる。」と答えた児童が、5月に比べ格段に多くなったという点です。これは、教科の本質的な楽しさに触れ、児童の学ぶ意欲や学習の充実感・満足感が高まっているということが考えられます。また、「いろいろな先生と話せる。会える。」と答えた児童の数も非常に多くなっていました。

逆に、5月、「先生のやり方が違って困る。」と回答していた児童は、ほとんどいなくなりました。それぞれの先生の学び方が身に付き、安心感をもって授業が受けられている結果です。

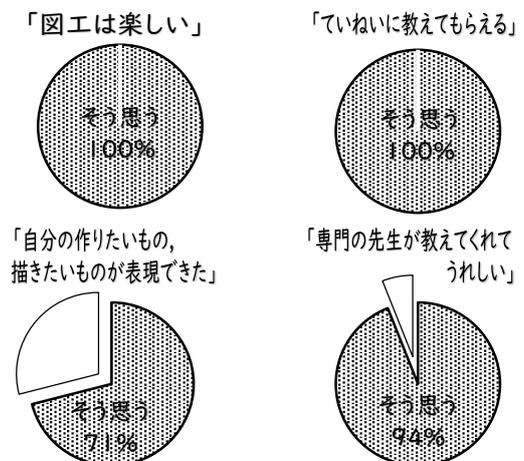
さらに、もう少し詳しく図工を例にして検証してみます。なんと、図工においては、3～6年生までの児童100%が、「図工は楽しい。」「丁寧に教えてくれる。」と答えています。今まで、図工を苦手としていた児童も、楽しく授業に参加していると思うと、本当にうれしく思います。

日頃、職員には、「数字はもちろんだが、書かれた理由が重要であり、一人一人の思いに丁寧に寄り添うことが大切」と話しています。子どもたち一人一人は、それぞれの個性や可能性をもっています。先生たちも、一人一人の違う個性を出しながら、子供たちの成長の手助けをしていきます。学校生活に「正解」はありません。今後も、保護者や地域のみなさまと力を合わせ、よりよい東明小を目指して工夫改善を重ねていきます。

「教科担任制 児童アンケート結果」(2～6年生)



図工 アンケート結果(3～6年生)



今年も、残すところあとわずかとなりました。4月以降、保護者・地域の皆様には、学校の様々な教育活動に対し、ご支援やご協力をいただき誠にありがとうございました。どうかよいお年をお迎えください。来年もどうぞよろしくお祈りします。

